3
March
2022

No.696

JCI HIKONE

勇猛果敢！ 絆が創るこの地域(まち)の未来へ！

・迎えろ70周年

「60周年周年誌」

・知ろう地域の輝き

「～近江ツーリズムボード～」

・理事会通信

「2月通常総会、第4回理事会」

写真：広報ブランディング委員会
委員長上田一八

広めろメンバーの想い

「広めろメンバーの想い」では委員会や委員長の想いを取材し記事にしていきます。今回は３月度公式訪問例会～豊かな未来への情報交換ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ～を目前に控える広報ブランディング委員会の上田委員長にお話を伺いたいと思います。

筆者：３月度公式訪問例会～豊かな未来への情報交換ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ～とはどのような例会ですか？
上田：３月度公式訪問例会は公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会の役員の方々をお招きして、互いの情報交換を行うことによって連携を深めたいと考えています。
筆者：具体的にはどのようなことを行われるのですか？
上田：今回オンラインでの開催ということで、パワーポイントを使って、互いの委員会の本年度の活動や想い、取り組む事業などについてプレゼンテーションを行っていただこうと考えています。加えて質疑応答の時間を設けることで有意義な情報交換の時間としていただきたいです。
筆者：なるほど。開催にあたって何か苦労されたことはありますか？

上田：計画を作り始めた当初は現地で開催をする予定をしていて、滋賀ブロック協議会の方をお迎えしたおもてなしとして、彦根城を周る屋形船に乗っていただこうと考えていました。しかし、コロナウイルスの感染拡大状況を考え、急遽オンラインでの開催となったため、屋形船に代わるものを考える必要があったことです。
筆者：代わりのものは何をされましたか？
上田：動画を作成しました。滋賀ブロック協議会役員の方を紹介する動画と、ひこねをＰＲする動画を作成したのですが、慣れない編集で時間がかかってしまい中々大変でした。少しでも歓迎の意を感じていただければ幸いです。
筆者：当日が楽しみですね。最後に一言お願いします。
上田：３月度公式訪問例会～豊かな未来への情報交換ｃｏｏｐｅｒａｔｉｏｎ～精一杯頑張ります！

理事会通信

この欄では青年会議所の肝と言っても過言ではない理事会の情報を紹介いたします。この理事会の中で委員会や執行部の考えた事業が実行するに値するものなのか、しっかりと計画が練られているのかといったことを議論し、理事の承認を得て初めて実行に移れます。委員長達にとっては正に修羅場！？な理事会の詳細をご覧ください。

・２月度通常総会　　**日時：　２月　１０日（木）１９時００分～１９時４３分**
場所：　文教スタヂオ５階

第１号議案　２０２１年度事業及び会計報告書承認の件
全会一致をもって承認

第２号議案　２０２１年度剰余金処分（案）承認の件
全会一致をもって承認

第３号議案　２０２２年度修正収支予算書（案）承認の件
全会一致をもって承認

２０２１年度の事業報告書と会計報告書が承認され、本当の意味で２０２１年度が締めくくりとなり、２０２１年度の剰余金を２０２２年度の予算に組み込む形で、２０２２年度へバトンが託されました。

・第４回理事会　　**日時：２月２４日（木）１９時００分～２０時３０分**
場所：文教スタヂオ５階

１号議案４月度例会～ファーストステップ！交流を始めよう！～開催の件
全会一致をもって承認

強固な絆確立委員会の初めての例会である4月度例会の議案書の審議が行われ、無事審議可決されました。プロフィールカードやアンケートをもとに行われるゲームによって会員同士の絆を深めるという内容となっております。

知ろう地域の輝き

「知ろう地域の輝きでは」地域で活躍している人物、話題のスポットを取材し記事にしていきます。今回は観光づくり法人（登録ＤＭＯ）であり一般社団法人「近江ツーリズムボード」のマネージャー、小島聖巳さんにお話をお伺いしました！

筆者：まずはじめに近江ツーリズムボードとはどのような団体でしょうか？

小島：近江ツーリズムボードは観光庁の認定を受けたＤＭＯ（Destination Management / Marketing Organizationの略）として地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れ、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを行うための、舵取り役となる法人です。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを目指しています。

筆者：観光地域づくりの舵取り役ですか。

小島：はい、簡単に言うと市民や役所や企業、あらゆる産業が一体となって観光を盛り上げる仕組みを地域全体で作るための司令塔の役割を行っています。生活の質を良くするための手段である観光を、地域住民を巻き込みながら発展させることを常に意識し、近江の地、滋賀県湖東地域が世界から選ばれる観光地となることを目指し、活動しています。

筆者：なるほど、具体的にはどのようなことを行っていますか？

小島：３市４町（近江八幡市、彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）を活動エリアとして、近江を唯一無二の存在として全国、世界へ発信するための「地域の魅力づくり」「マーケティング」「プロモーション」「受入体制づくり」を行っています。

　たとえば、近江・湖東エリアは観光地としてもともと「点」としてのポテンシャルは高いのですが、観光地１つだけの「点」で終わってしまうことが多いため、短い滞在の日帰り観光という形が多く、観光客は多いのに消費が少ない傾向があります。今後は消費の拡大のためにも「点」の地域と地域を結び「線」にして、さらに連携することで１つの観光地としてみる「面」を目指す必要があります。そのための取り組みの１つに「びわ湖のうえの物語」があります。

筆者：びわ湖のうえの物語、それはどういったものですか？

小島：びわ湖北東部である「びわ湖の上の方」を中心に公共交通機関を使って広域を巡るツアーを提供していて、自分の作った花火を打ち上げる「花火クルーズ」、湖東の醸造所を巡る「クラフトビール巡りツアー」、「日本酒蔵巡りツアー」などがあります。

筆者：面白そうですね。個人的には花火づくりが気になります。

小島：ありがとうございます。花火づくりは特に人気のあったツアーの１つです。その他の活動では彦根城の魅力をＡＲや動画で体感できるスマホアプリ「体感　国宝彦根城」の提供、「近江美食チャンネル」と題してＹｏｕＴｕｂｅで動画配信も行っています。

　近江美食チャンネルでは、地域の料理人が地域の食材を使い、家庭でも再現できるレシピを公開している「ＥＡＴＥＲＥＳＴＩＮＧ（イータレスティング）」、商品の成り立ちから商いの歴史までを店主に語っていただき、地域の歴史を紐解く「ＴＡＳＴＥ　ＴＨＥ　ＳＴＯＲＹ（テイスト　ザ　ストーリー）」、商品の楽しみ方を、その道のプロフェッショナルが深堀りし、紹介する動画「ＴＡＳＴＹ　ＴＩＰＳ（テイスティティップス）」の３つのコンテンツで地域の魅力を発信しています。

筆者：近江観光大使であるクリス・グレンさんが出演している動画ですね。

小島：そうです。近江の食の魅力をわかりやすく紹介する動画の作成を行っています。観光客だけでなく、地元の方々にも地域の食文化の魅力を知ってもらい、親から子、様々な世代の方々に地域の素晴らしい食材や調理法、特産品に触れて好きになってもらい、伝え、受け継いでいって欲しいです。

筆者：地域を盛り上げ世界へ、素晴らしいです！本日はありがとうございました。

観光地域づくり法人(登録DMO)
一般社団法人 近江ツーリズムボード
Omi Tourism Board

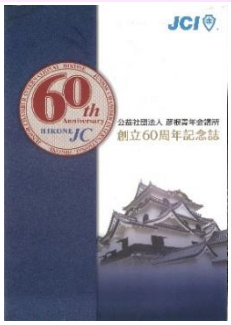
〒522-0063
彦根市中央町3-8 彦根商工会議所内
ＴＥＬ
０７４９－２２－５５８０

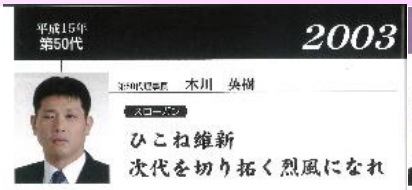
近江美食チャンネル

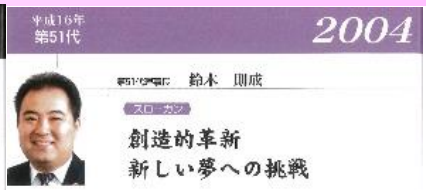
OMiGASTRONO CHANNEL

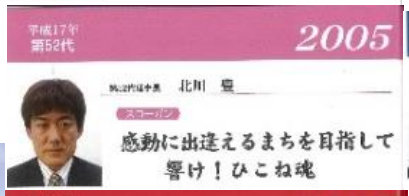
迎えろ！70周年

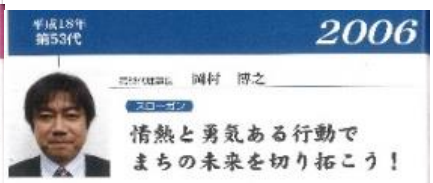
彦根青年会議所は来年２０２３年で生誕７０周年を迎え、７０周年を記念する式典が行われます。本年度は式典を成功に導くための準備委員会が立ち上げられるなど、まさに“準備”の年になります。「迎えろ！７０周年」では来年度に控えた彦根青年会議所生誕７０周年に向けて、過去の周年で行われた活動や当時活躍された方々への取材など７０周年に向けた情報を記事にします。今回は彦根青年会議所生誕６０周年に作られた記念誌を入手したため、１０年間の歴代理事長をご紹介いたします。

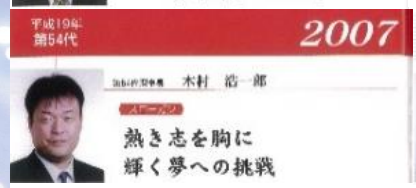


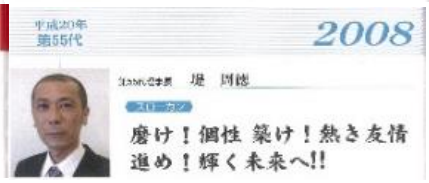


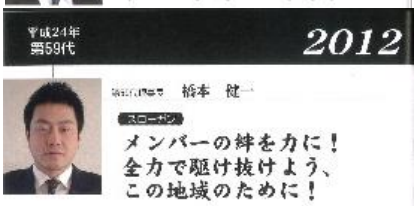












10年分の事業、出来事、想いの詰まった素晴らしい1冊です。
70周年記念誌も作成されるとの情報がありますので、広報ブランディング委員会としても、今から楽しみです。

～お詫び～

月報１月号内２０２２年度役員紹介にて直前理事長である北村忠征君の紹介が抜けておりました。この場をお借りしてお詫び申し上げるとともに、改めてご紹介させていただきます。

役職　:直前理事長
氏名　:北村　忠征
抱負　:JC活動を楽しむ！

事業・例会案内

●２０２２年　3月　6日　１８時半～
　３月度（公式訪問）例会
～豊かな未来への情報交換cooperation開催

●２０２２年　4月　6日　１９時半～
　４月度例会～～

過去の事業に関する記事、各種公式SNSなどはこちらのリンクよりご覧ください！